

## 1 有機EL高効率ホスト材料

## 特徴

- 高発光効率／低消費電力 → 高T1エネルギー、高電荷注入輸送性
- 長寿命／高耐熱 → 励起状態／荷電状態 高耐久性、高Tg
- パネル生産プロセス優位性 → プレミックスホスト(P型+N型) 混合比率 高安定性
- 高品質／安定生産供給 → 特性影響微量不純物 除去／管理ノウハウ

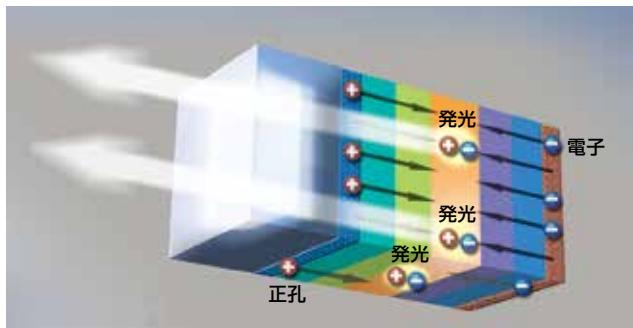
当社は、製鉄プロセスで生じる副産物の高付加価値化で培った有機合成技術や独自に開発した昇華精製技術を活かし、1998年に有機EL材料市場に参入しました。

さらに高度な計算化学技術を駆使し、世界に先駆けて実用レベルの燐光赤ホスト材料の開発(2004年)ならびに燐光緑ホスト材料の開発(2006年)に成功しました。

現在では業界での高い評価を得ており、国内外での採用実績を増やしています。未だ実用化されていない燐光・TADF(熱活性型遅延蛍光)青ホスト材料の開発にも積極的に取り組んでいます。

## 用途

## 有機ELディスプレイ



電気を流すと素子自体が光る  
自発光、明暗や色彩、完全な黒を表現



## 特性 / 仕様

## 新規開発 燐光緑ホスト材料

燐光緑 ホスト材料	耐熱性 ガラス転移温度 (°C)	生産適性 蒸着温度 (°C) <1Pa>	混合比率 安定性 (比率ブレ幅)	発光効率 (cd·A/cm²)	駆動電圧 (V)	寿命 (時間)
新規開発品①	140	223	≤2.2%	97%	103%	170%
新規開発品②	133	230	≤1.0%	108%	103%	121%
Ref. (当社量産品)	126	217	≤3.5%	100%	100%	100%